学校番号	111

令和２年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭総合	単位数	4 単位(2.3 年次各 2 単位)	年次	2 年次
使用教科書	「新家庭総合」今を学び未来を描き暮らしをつくる　（教育図書株式会社）						
副教材等	生活学 Navi 資料＋成分表 2020（実教出版株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．人が生きてゆく上で必要な知識、とりわけ家庭生活にかかわる基本的な知識を身につける。
２．実験・実習を通して、自立に向けた技術を身につけるとともに、現状の生活課題などを自ら発見し、解決する過程を知る。
３．さまざまな体験学習を通して、座学などで身につけた知識をより確実なものとする。

2　学習の到達目標

１．人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。
２．学習した知識や技術を生かし、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育てる。
３．家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・家族、子ども、高齢者、消費、契約、経済などに対して、また、それらに関連する制度や法律等に関心を持ち、さらに生きてゆく上の知識・技術を習得して、自分の生活をデザインしようとする意欲がある。	・学習した内容を理解した上で、自分の生活課題や社会的課題をみつけ、解決のためどのようなことができるかを思考し、判断した内容をレポート等にまとめることができる。	・自立するために必要な縫製技術、また家族などの介護や保育のための基礎的技術などを身につけることができる。	・人が生きてゆく上で必要な「家庭生活」にかかわる基本的知識を身につけ、理解している。
評価方法	発表 観察 レポート 振り返り用紙 プリント（ノート）	観察 レポート プリント（ノート） プレゼンテーション	実習・実験 観察 チェックカード レポート	定期考査 小テスト レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1章青年期と家族	家庭総合を学ぶにあたって 1 人生って何だろう？ ・ライフステージと青年期 ・青年期の自立と共生 ・職業の選択 2 家族って何だろう？ ・家族の役割 ・家庭の機能 ・社会の中の家族 ・男女でともに家庭を築く ・家族を取り巻く問題 ・法律の中の家族	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、青年期の課題を具体的に考えようとしている。固定的な性別役割分業意識を見直し、多様な生き方を認め、積極的に家族・家庭と社会との関わりを考えようとしている。 b:自分を見つめ、肯定的な自己概念を持ち、自分の人生や進路について考えを深め、具体的に書ける。家庭生活を支える法律や社会制度について考えまとめたり、発表したりできる。 ｃ:各ライフステージの特徴と課題について理解し、青年期の課題や現代家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会とのかかわりについて理解し、まとめることができる。 ｄ:自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意志決定を自分で行うことの大切さや考え方を理解している。	観察 プリント レポート 小テスト 振り返り用紙
1学期	第6章衣生活	1 衣服の機能 ・保健衛生上と社会生活上の機能 2 衣服を入手しよう ・衣服の購入と選択 ・衣服の材料・品質表示ﾏｰｸ 3衣服をつくってみよう！ ・衣服製作の手順 ・被服実習 (エプロン) 3衣服を管理しよう ・衣服の手入れ「洗濯」 ・衣服の保管	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:衣生活に関心を持ち人や気候と被服の関わりを考えようとしている。被服材料、被服構成、縫製技術に関心を持ち、衣服製作に取り組んでいる。 b:被服材料の性能改善と着心地、安全に配慮した被服について考え、まとめたりしている。 c:衣生活を営むための衣服製作ができる。 d:被服材料、衣服製作、被服管理等について科学的に理解している。資源の有効活用の観点から購入、手入れ、保管、廃棄を考えた持続可能な衣生活の必要性を理解している。	衣服実習 ﾚﾎﾟｰﾄ ﾁｪｯｸｶｰﾄﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ 観察 演習 定期考査

2学期	第4章消費生活	1何をどうやって買う？ ・消費生活と生活情報の活用 2自立した消費者とは？ ・契約・悪質商法 ・消費者問題の現状と課題 ・消費者信用のしくみ クレジットカード ・消費者の権利と責任 ・消費者保護のしくみ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：消費生活における課題や消費者の権利と責任について理解しようとする。環境保全の観点から持続可能な社会に向けて消費行動をしようとする。消費行動における意志決定の重要性や消費者市民社会にについて考えようとしている。 b：自身の生活の質の向上のため消費行動と環境とのかかりの課題を見つけ考えたり、工夫しようとしている。 c：自立した消費者として、多様な情報の中から、適切な情報を取捨選択し、目的に応じて活用する技術を身につけようとしている。また、自分の消費行動を検証することができる。 d：消費者問題の現状や消費者の権利や責任を理解している。環境に配慮したｸﾞﾘｰﾝｺﾝｼｭｰﾏｰとなることが求められていることを理解し、自立した消費者になるための知識を身につけようとしている。消費行動における意志決定の重要性や消費者市民社会の意義を理解している。	観察 ﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ 視聴ﾚﾎﾟｰﾄ

2学期	第2章保育	1 子どもの成長を見つめる ・子どもの成長 ・発育と発達 ・コミュニケーションの発達 2 子どもの世話をしてみよう ・親の役割 ・基本的生活習慣 ・子どもの健康・安全を守る ・子どもと遊び 3 子どもを取り巻く環境 ・子育ての現状と問題点 ・子育てを支えるしくみ 4 子どもの権利と福祉 ・子どもの権利を守る	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:母体の健康と子どもの誕生、子どもの心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。子どもとの触れ合いを通して子どもの発達や生活に関心を持ち、保育の重要性や社会の果たす役割を考えようとしている。 b:子どもと触れ合う学習活動について、学習目標、実習中の判断、学習後の振り返りなど、成果をﾚﾎﾟｰﾄにまとめたり発表したりできる。 c:子どもと触れ合う実習で子どもたちと適切に関わったり、子どもの発達の実際や生活の様子について観察したりすることができる。 d:生命の尊さ、子育ての意義の重要性について理解している。妊娠や出産に関わる知識を身につけている。子どもの心身の発達や生活と環境との関わりについて家族や地域や社会が果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。	観察 実習ﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査

3学期	第3章高齢期	1 超高齢社会を考える 2 高齢者と介護 3 高齢期の生活を支える仕組みとは	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a. 高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようになるとともに我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について考えることができる。 b. 高齢者の生活から我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題についてどうすべきか考えをまとめ、発表することができる。また高齢期の生活を支える制度について考察することができる。 c. 高齢者の介護について具体的な方法を理解し、認知症などの高齢者への言葉がけなどに気を付けてコミュニケーションをとることができる。 d. 我が国のこうれいかの特徴や制度、高齢者の暮らしについて、また社会福祉制度や介護について知識を身につけ、理解している。	観察 レポート プリント 視聴レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。